

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2025年6月)
—過去最低水準の6.2%で横ばい

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

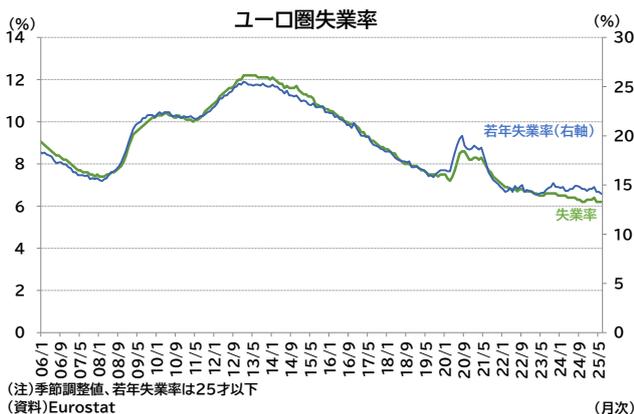
1. 結果の概要:失業率は6.2%

7月31日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

【ユーロ圏失業率(20か国、2025年6月、季節調整値)】

- ・失業率は6.2%、市場予想¹(6.3%)から下振れ、前月(6.2%)と同じだった(図表1・2)
- ・失業者は1070.0万人となり、前月(1076.2万人)から6.2万人減少した

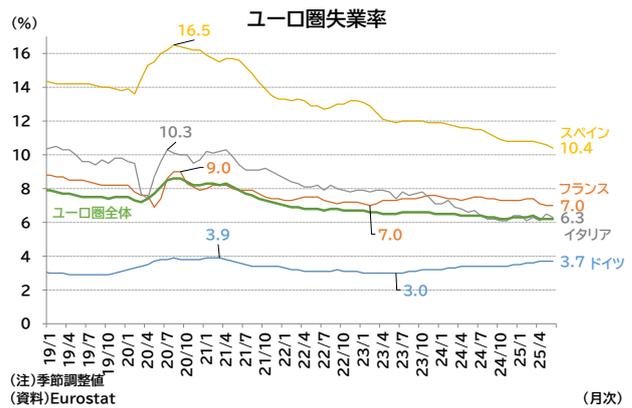
(図表1)



(注)季節調整値、若年失業率は25才以下
(資料)Eurostat

(月次)

(図表2)



(注)季節調整値
(資料)Eurostat

(月次)

2. 結果の詳細:主要4か国すべてで失業者が減少

ユーロ圏(20か国)の6月の失業率は過去最低水準の6.2%となり、5月(6.2%)から横ばいだった。なお、過去データは5月分がわずかに改善方向に改定された(5月6.3%→6.2%)。

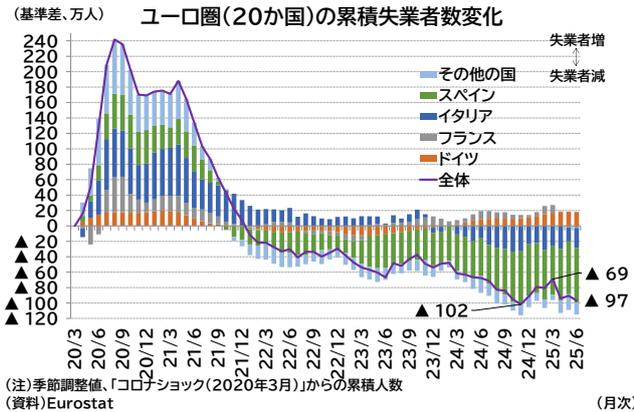
失業者数は6月の前月差で6.2万人減と減少に転じた。主要4か国ではイタリア(▲7.1万人)、スペイン(▲2.7万人)、フランス(▲1.0万人)、ドイツ(▲0.3万人)といずれも減少だった。失業者数はコロナ禍前より97万人少なく、スペイン(コロナ禍前比▲71万人)が大きく、次いでイタリア(同▲26万人)がやや減少に寄与している。一方、ドイツはコロナ禍前より18万人失業者が多い(図表3)。

6月の若年失業率は14.1%となり、5月(14.3%)から低下し、過去最低水準(23年3月の14.0%)に迫った。なお、若年失業率も過去データがわずかに改善方向に修正されている(5月14.4%→14.3%)。若年失業者数は6月で224.1万人(前月差▲3.4万人)と減少し、若年失業者数の水準は

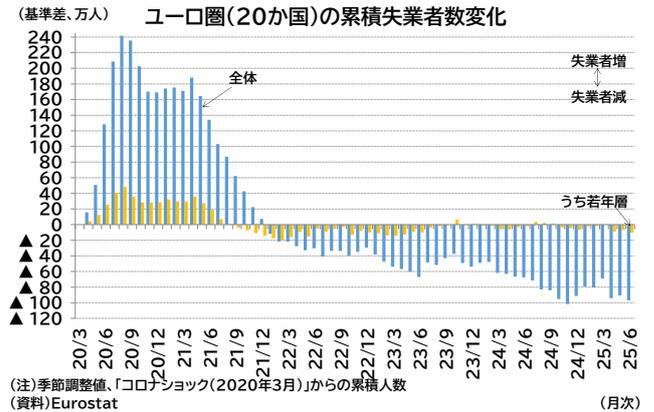
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

コロナショック直前（20年3月の234.5万人）を下回っている（図表4）。

（図表3）

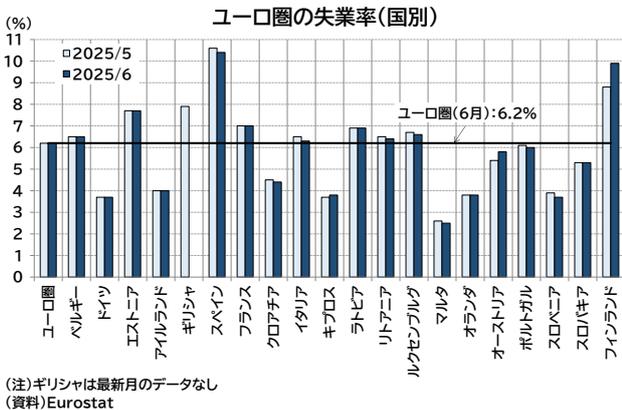


（図表4）

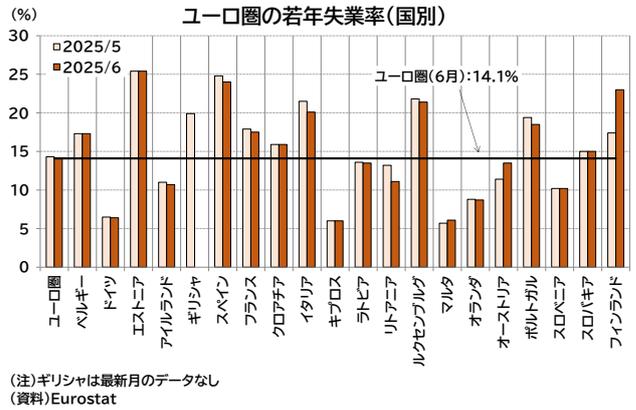


国別の6月のデータを見ると、失業率は公表されている19か国中、悪化した国が3か国、改善が8か国、横ばいが8か国だった（図表5）。若年失業率は、公表されている19か国中、悪化した国が3か国、改善が10か国、横ばいが6か国だった（図表6）。

（図表5）



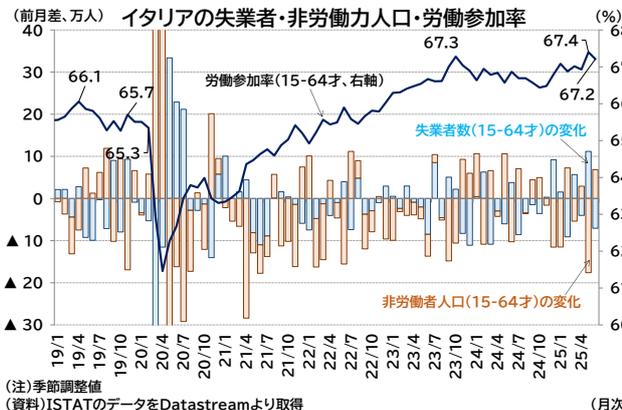
（図表6）



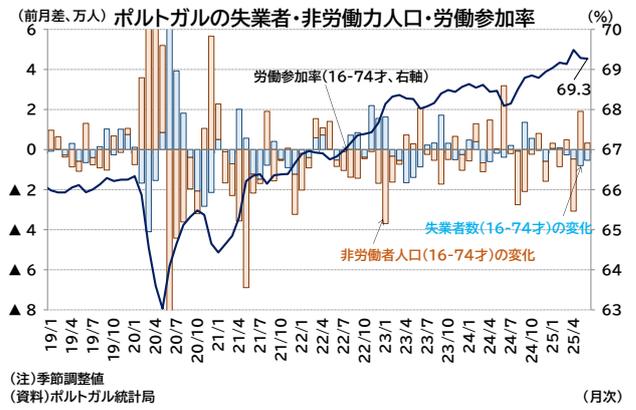
最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、非労働力人口と就業者が増加し、労働参加率は前月のコロナ禍後の最高値(67.4%)からやや低下したものの、高水準を維持している（図表7）。ポルトガルも失業者が減少、非労働力人口と就業者が増加した（図表8）。ポルトガルでも労働参加率は減少したが、依然としてコロナ禍以降の最高値付近にとどまっている。

総じて、ユーロ圏の雇用環境は良好な状況が続いていると評価される。

（図表7）



（図表8）



本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。